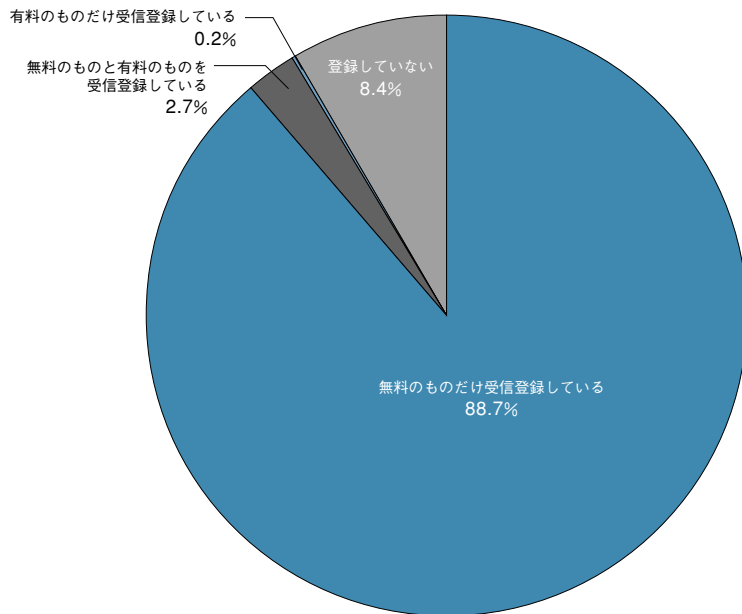


メールマガジン

約9割がメールマガジンを購読、ただし有料の購読は2.9%止まり

資料2-4-18 メールマガジンの購読有無 N=1,600

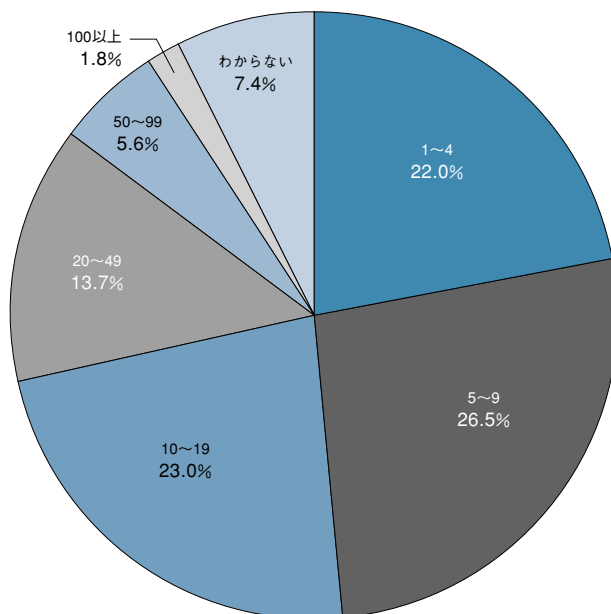


メールマガジン購読を「登録していない」と回答した人は8.4%で、約9割のユーザーがメールマガジンの受信登録をしている。ただし、大半は「無料のものだけ受信登録している」と回答しており、有料のメールマガジンを購読しているユーザーは2.9%と依然少数となっている。

©impress,2005

メールマガジンの購読数は過半数が10件以上登録

資料2-4-19 メールマガジンの購読数 N=1,465



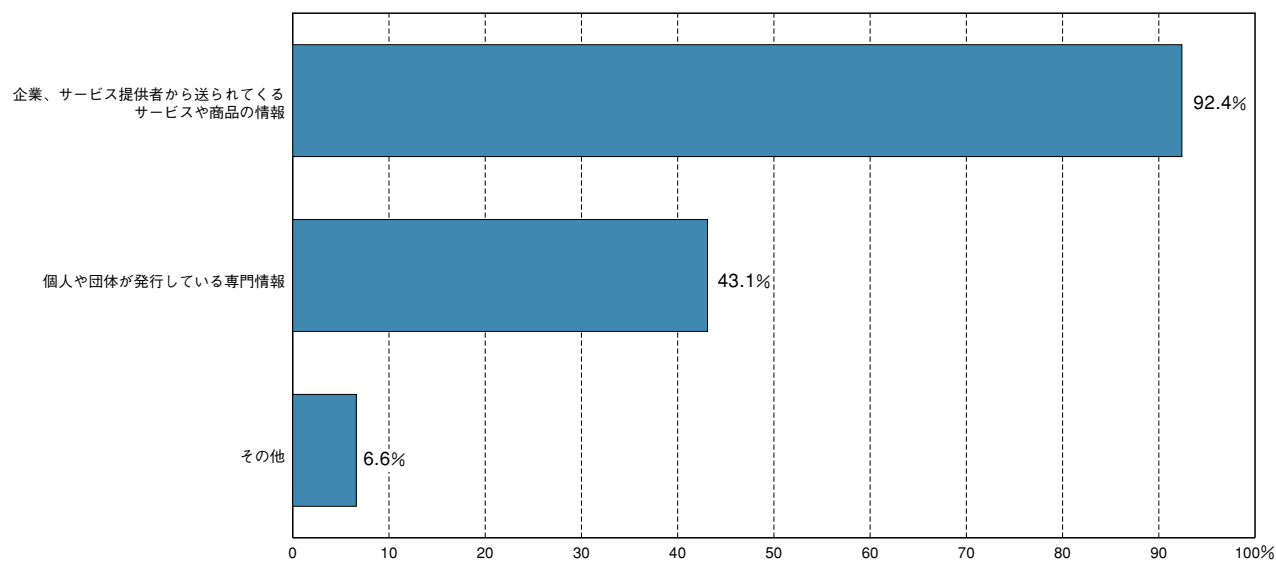
メールマガジン購読者の登録数は「5~9」が26.5%で最多、「1~4」の22.0%との合計は48.5%で、半数以上が10件以上登録している。

©impress,2005

メールマガジン

個人や団体が発行する専門情報のメールマガジンにも4割以上が登録

資料2-4-20 受信登録しているメールマガジンのジャンル（複数回答） N=1,465

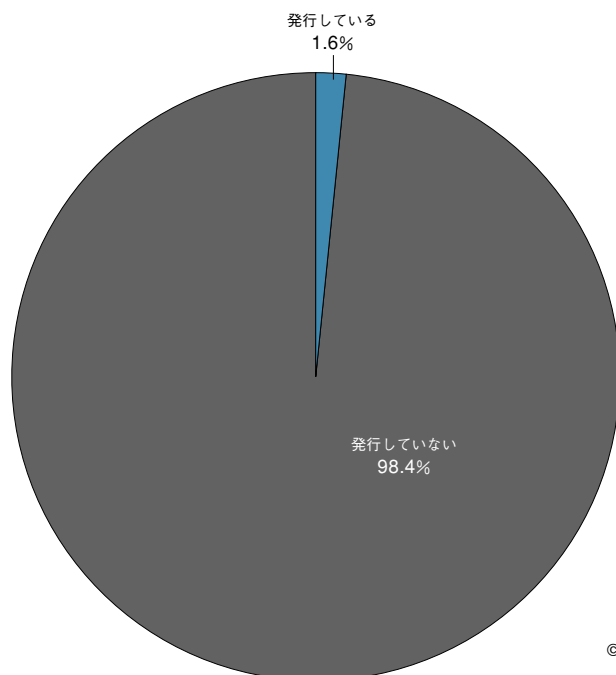


メールマガジン受信登録者のうち、約9割が「企業、サービス提供者から送られてくるサービスや商品の情報」を扱うメールマガジンに登録しているが、「個人や団体が発行している専門情報」にも4割以上のユーザーが登録している。

©impress,2005

個人のメールマガジンの発行率はわずか1.6%

資料2-4-21 自分のメールマガジンの発行有無 N=1,600



自分でメールマガジンを発行しているユーザーは1.6%と、ごく一部の利用者だけの情報発信方法となっている。これは昨年の2.5%よりも減少しており、今後ブログによる情報発信の浸透が進むことで、個人メールマガジンの発行はさほど増えないことも推測される。

©impress,2005



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp